

やまびこ

357

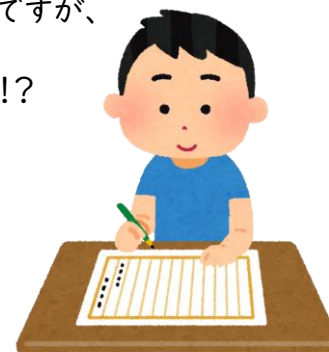
時代が違って、体験が同じでも…？

先日、山形小説家・ライター講座の鶴岡出張講座特別編として、エッセイストの酒井順子さんにお話しいただきました。受講されて、改めてエッセイの楽しさに気づいた方も多いのではないのでしょうか？自分自身も講座を聞きながら、中学生のときはさくらももこさんのエッセイに、高校生のときはコミックエッセイにドハマリしたことを思い出しました…エッセイは楽しい！ぜひ読んでいただきたい!!という気分になったので、今月のテーマはエッセイです！

エッセイ(英語表記 essay)のもともとの意味は、論文・レポート・随筆となっていますが、現在エッセイ本というと一般的には随筆のことを指しますよね。そして随筆の意味とは…となると『見分・経験・感想などを気の向くままに記した文章』(新村出編(2018)広辞苑(第7版)、岩波書店。)とあります。日本で一番有名なエッセイといえば、平安時代中期に書かれたとされる清少納言の『枕草子』ではないのでしょうか？確かに気の向くままに記した文章という感じがします。1000年以上前に書かれたものなのに現代人が読んでわかる!と思える部分も多いです。うつくしきものの章では、様々なかわいらしいものを挙げた後「小さいものはみんなかわいい」と締めています。時代が変わると考え方もどんどん変化していくものですが、うつくしきものの…のように時代が違って同じようなことを考える部分もあると思うと面白いですよね。

そして時代が同じで経験したことが同じでも、作家さんが書くとなんでそんなに面白くなるんだろう!？と思うこともあります。自分が体験したら、あーあガッカリ…で終わるようなことで大笑いできる作品を読むと、やっぱり作家さんはすごい!と思うと同時に、次同じガッカリを味わったときに読んだ内容を思い出してちょっぴり元気になるなんてこともありそうですよね。

皆さんも身近なことを気の向くままに記してみたいか？もしかすると、1000年後の未来で3024年の人を読んで、2024年的人是こんな風なことを思っていたのか…今とあんまり変わらないなあ～、と思ってくれるかもしれませんよ…!


 図書館にある「エッセイ」

◎日本のエッセイ

- 『ももこのまんねん日記』 さくらももこ(2010)
- 『愛子の格言』 佐藤愛子(2021)
- 『月夜の森の鼻』 小池真理子(2021)
- 『今夜もそっとおやすみなさい』 小川糸(2021)
- 『九十歳』 曾野綾子(2021)
- 『作家と酒』 (2021)
- 『妻から哲学』 土屋 賢二(2021)
- 『渡部昇一の着流しエッセイ 1～5』 渡部昇一(2013～2015)
- 『日本文学全集7 枕草子』(2016)

◎コミックエッセイ

- 『アタックPTA』 細川 貂々(2020)
- 『アルトゥルと行く! 不思議の国・ジャパン』 アルトゥル(2021)
- 『今夜はアレで飲みたい!』 新久 千映(2023)
- 『体力アップ1年生』 たかぎ なおこ(2024)
- 『問題のある保育園』さいお なお(2023)
- 『介護ど真ん中! 親のトリセツ』 カートン(2023)
- 『たまさんちのホゴイヌ』 tamtam(2022)
- 『本屋図鑑』 いまがわ ゆい(2022)

◎外国のエッセイ

- 『死ぬより老いるのが心配だ』 ドナルド・ホール(2022)
- 『暇なんかないわ大切なことを考えるのに忙しくて』 アーシュラ・K. ルーグウィン(2020)
- 『いったいぜんたい、どうしてこんなことをしてきたのだろうか。』 ロバート・フルガム(2008)
- 『ロアルド・ダールコレクション 20 一年中わくわくしてた』 ロアルド・ダール(2007)

令和6年11月1日
 鶴岡市立図書館
 鶴岡市郷土資料館
 〒997-0036
 鶴岡市家中新町 14-7
 TEL (図)25-2525
 (郷)25-5014
 FAX 25-2526



リードン ヨンデール
 ©Tsuchida Yoshiharu

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。
新刊は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://lib.city.tsuruoka.yamagata.jp/>



11月の新着案内



リクエスト・予約開始は 11月8日(金) です

◎小説・エッセイ

- ピースキーパー (麻生 幾)
- アーセナルにおいでよ(あさの あつこ)
- 青姫 (朝井 まかて)
- 生殖記 (朝井 リョウ)
- 冷たい恋と雪の密室 (綾崎 隼)
- 碧血の碑 (赤神 諒)
- 藍を継ぐ海 (伊与原 新)
- だめになった僕 (井上 荒野)
- 荒れ地の種 (江上 剛)
- 飽くなき地景 (荻堂 顕)
- 小鳥とリムジン (小川 糸)
- 蘭医繚乱 (海堂 尊)
- さかさ星 (貴志 祐介)
- ロブスター (篠田 節子)
- 代替伴侶 (白石 一文)
- 穢れた聖地巡礼について (背筋)
- 円かなる大地 (武川 佑)
- 僕たちの保存 (長嶋 有)
- シルバー保育園サンバ! (中澤 日菜子)
- 怪傑レディ・フラヌール (西尾 維新)
- 短物語 (西尾 維新)
- サリエリはクラスメイトを二度殺す(額賀 滯)
- 世界のすべて (畑野 智美)
- あさ酒 (原田 ひ香)
- フランネルの紐 (東 直子)
- 富士山 (平野 啓一郎)
- 真珠王の娘 (藤本 ひとみ)
- 最高のウエディングケーキの
作り方 (古内 一絵)
- ゆうべのヒミツ (室井 滋)
- ホテル物語 (イム キョンソン)

◎実用書

- インターネット文明 (村井 純)
- 戦争と図書館(新屋 朝貴)
- デジタル時代の児童サービス(西巻 悦子)
- 「知る」を最大化する本の使い方(ぶつくま)
- ゼロからの著作権 (宮武 久佳)
- 高校生に知ってほしい心理学(宮本 聡介)
- 全員“カモ” (ダニエル・シモンズ)
- バイアス大図鑑 (池田 まさみ)
- インド北東部を知るための45章(笠井 亮平)
- 努力は仕組み化できる (山根 承子)
- 図解いちばんやさしく丁寧に書いた
金利の本 (美和 卓)
- ゆるい場をつくる人々 (石山 恒貴)
- 心理的虐待 (姫野 桂)
- 学力喪失 (今井 むつみ)
- 数学大図鑑 (カール・ワルシ)
- 日本の美しい水族館 (銀鏡 つかさ)
- 「なぜ薬が効くのか？」を超わかりやすく
説明してみた (山口 悟)
- ウルトラ図解脳腫瘍 (近藤 聡英)
- お腹が弱い人のための 30 秒腸活(小林弘幸)
- 大人のきものコーディネート図鑑(すなお)
- 津田蘭子の「ミシンの困った！」
解決BOOK (津田 蘭子)
- 英国スコーン練習帳 (砂古 玉緒)
- 世界のおやつ図鑑 (佐藤 政人)
- 日本ご当地チェーン大全
- 知っておきたい75歳からの
免許更新 (浦上 克哉)
- JR東日本(枝久保 達也)
- 悪魔(しきみ)

◎児童書

- 売る仕事の日(西山 昭彦)
- 自分らしく、あなたらしく(高橋 うらら)
- 皮ふとぬり薬のひみつ(安部 正敏)
- 日本の世界遺産(山口 正)
- とびたて！みんなのドラゴン(オザワ部長)
- おこなわ跳びません(赤羽 じゅんこ)
- たい焼き総選挙(新井 けいこ)
- ◎絵本
- さるさるおさるこんにちは(乾 栄里子)
- ぼくのカキだよ！(市川 里美)
- あたらし島のオードリー(川上 和人)
- ねえだっこ(柿木原 政広)
- くびがにゅーとのびました(きくち ちき)
- ひょいひょい(たなか ひかる)
- かいじゅうのすむしま(谷口 智則)
- もぐもぐかめかめ(きたがわ めぐみ)

= 今月の誕生鳥 =

ニワトリ



キジ科の家禽。東南アジアで野鶏が飼われ始めたときが、人類と鶏の関係の始まりといわれている。

～鶏の出てくるおはなし～

・『なんどでも生まれる』 彩瀬まる／著

・『赤いめんどり』
アリソン・アトリー／作